

CRC 便 Vol. 4

グランドキャニオン



かんのファーム

夏に発行したCRC便Vol. 3をご覧ください。もう一度だけ読んでいただけましたか？

そう！！スイカがトレードマークのパフレットですね！！

前は“治験依頼から開始までの流れ～企業治験編”を紹介しました。
今回の冬号は、8月に看護部にご協力頂いたアンケート調査の結果報告をします。

ベルギー聖母大聖堂



<2014年 春・夏・秋・冬>

春は、部署異動から始まり治験患者さんの対応はもちろん、様々なミーティング、出張、セミナーに参加しました。

夏は、待ちに待った夏休み。長期休暇を利用して海外旅行で英気を養いました。

臨床試験管理センターには各国の名産物がゾロリ！！(°д°)ウ-(°Д°)マ-(°A°)イ……(°▽°)ノ……ゾオオオオ!!!!

今年の秋・冬は、新規治験の契約数がとても多く忙しくなっています！！

しかし、患者対応にはきめ細やかな配慮は忘れません。治験を行っていくには、各部門の協力なしには進みません。

また、治験業務をコーディネートするだけでなく、看護師・薬剤師・管理栄養士の視点からのアプローチで、個々の患者さんの不安や疑問への対応も多職種から構成されるCRCだからこそできる事があります。

この3つの職種の知識を集約し、全力でバックアップしておりますΣd(ゝ▽ゝ)！！

オペラハウス



登別ホースパーク in 北海道

来年もどうぞ臨床試験管理センターをよろしくお願い申し上げます。



エアーズロック

8月に看護部で実施しました、「CRC院内認定コース研修の広報活動の検証」に関するアンケート調査にご協力頂きありがとうございました。貴重なご意見を多くいただきました。CRCへの質問には、裏面に回答を掲載しています。ご覧ください。

Q 1. リーフレット(CRC 便)がどこにあるか知りたい

A 1. 徳島大学病院 HP の臨床試験管理センター(CRC のメニューをクリック)から PDF データでぜひご覧ください。

Q 2. リーフレット(CRC 便)だけでなく、e-ラーニングや研修を計画して欲しい

A 2. e-ラーニングについて、今後検討していきます。また、部署への出張勉強会も行いますので、ぜひご連絡ください。

Q 3. 病棟で CRC と関わることがない為、臨床の場で直接関わることができたら、もっと認知しやすいかもしれません。医師とは「治験」として関わっても、看護師はあまり知らないのが現状です。

A 3. 入院して治験薬を投与する治験については、当該診療科の病棟において、CRC による治験説明会を開催しています。また、外来通院中の治験参加者が入院された際には、CRC から情報提供をしております。しかし、病棟によって差がありますので、この点を改善するためにも部署への出張勉強会の必要性を感じています。

Q 4. CRC が何をしてくれるのか、患者さんにどう説明されているのかが分からない。治験の内容も知らないまま、全て CRC に任せてしまっているため、患者さんからの質問に答えられない。突然始まるので、対応が分からず困る。前もってどんなレジメンでどんなことを CRC がするのか、副作用についてなど説明があると嬉しい。

A 4. ご意見に対して、CRC 間で共有いたしました。治験ごとにキックオフミーティング(実務者が集合して運用フローや役割分担・注意点を確認する会議)への参加を当該病棟・外来師長へ声掛けしています。CRC が該当病棟の流れ、特徴を知っておくことで実際に治験を円滑に進める準備ができますし、病棟スタッフも詳しい治験の流れを知り、患者さんの看護に役立ててもらえると思います。どなたでも参加いただけますので、ぜひご出席ください。

Q 5. 各科、各担当者によって、出来る事と出来ない事の幅が大きすぎるので、統一してほしい。仕事内容も不明瞭。CRC としての仕事内容は、CRC の各担当者にしてほしい。せめてバイタルサイン測定くらいはしてほしい。(機械を使うなどして)

A 5. 現在 CRC は、看護師 4 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 2 名で構成されています。職種の定められている法律により可能な業務に違いがあります。CRC とは、治験が安全かつ円滑に進められるようコーディネートする役割にありますので、検体採取や治験薬投与、バイタルサインの測定を検査部・病棟・外来スタッフの方に依頼しています。状況によって、看護師 CRC のみバイタルサインの測定などを行うこともあります。この情報伝達が不十分でした。

Q 6. CRC 便 Vol.3 を見ましたが、どなたが看護師であるのか、とか、院内認定資格をいつ取得されたのかなど…写真と合わせて提示すると分かりやすいと思いました。

A 6. 看護部 HP のブログに「院内認定コース研修：CRC ご存知ですか?」というタイトルで記載しました。ぜひご覧ください。

Q 7. CRC・センター等の看護師と現場の看護師が協働して関わった内容、実際についてもっと知りたい。

A 7. 今後もリーフレットを作成したり、出張勉強会という形などで情報発信したいと思います。なお、実際に新しく承認されたお薬の情報なども協働・連携していただいた部署に情報提供したいと考えています。

現在、私たちが使っているお薬は、過去に多くの患者さんのご協力により治験が行われて開発されたものです。治験は通常の治療とは異なり、開発中の治験薬をいくつかの方法や条件で使用してみて薬の安全性や有効性などを調べるという研究的な面があります。

日々治験が円滑に進むようコーディネート力の向上に努めております。

今後とも治験に御協力頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

